

CSP 2100 の ISO からの再インストール

内容

概要

[CSP2100を工場出荷時のデフォルトに初期化する再インストール手順](#)

概要

このドキュメントでは、クラウドサービスプラットフォーム (CSP) 2100 を工場出荷時の初期状態に戻す方法について説明します。このドキュメントはさらに、構成メタデータをすべてクリアしたり、データを保存せずにアップグレード/ダウングレードしたり、システムを工場出荷時の初期状態に戻したり、破損したシステム ディスクから復旧したりする場合にも役立ちます。

CSP2100を工場出荷時のデフォルトに初期化する

デフォルトでは、CSP2100 は再インストール後に、最後に動作していた構成を自動的に復元します。この構成をクリアするには、追加の手順を実行する必要があります。

既存の構成をクリアしない場合のタスクは次のとおりです。

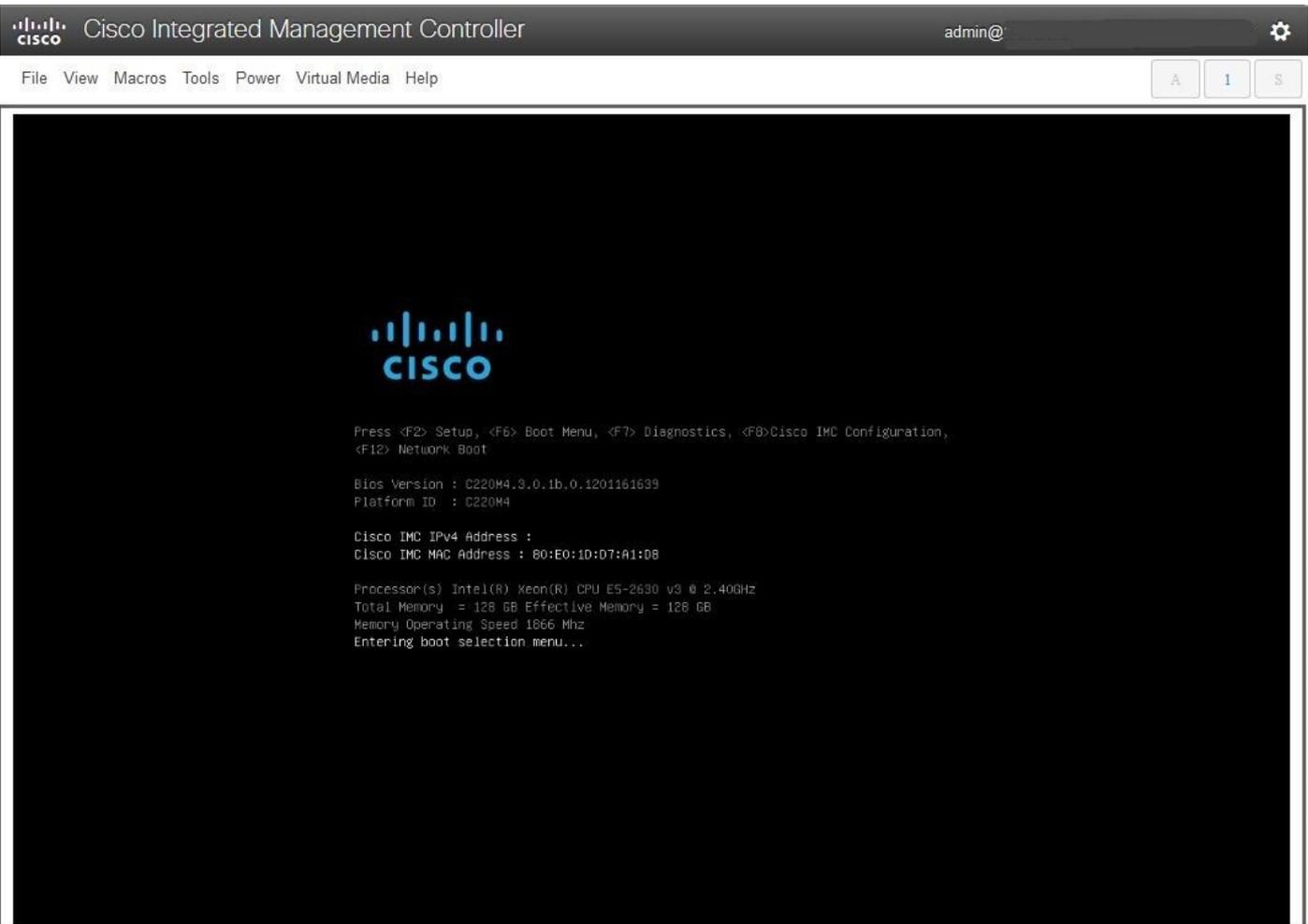
- 大規模集積回路 (LSI) コントローラで Fast INIT を使用します。
- 同じタイプの冗長ディスク アレイ (RAID) ボリュームが破棄され、再作成されます。

どちらの手順を実行した場合でも、ユーザは、デフォルトのユーザ名/パスワードまたは以前に設定したユーザ名/パスワードを使用してログインできなくなります。

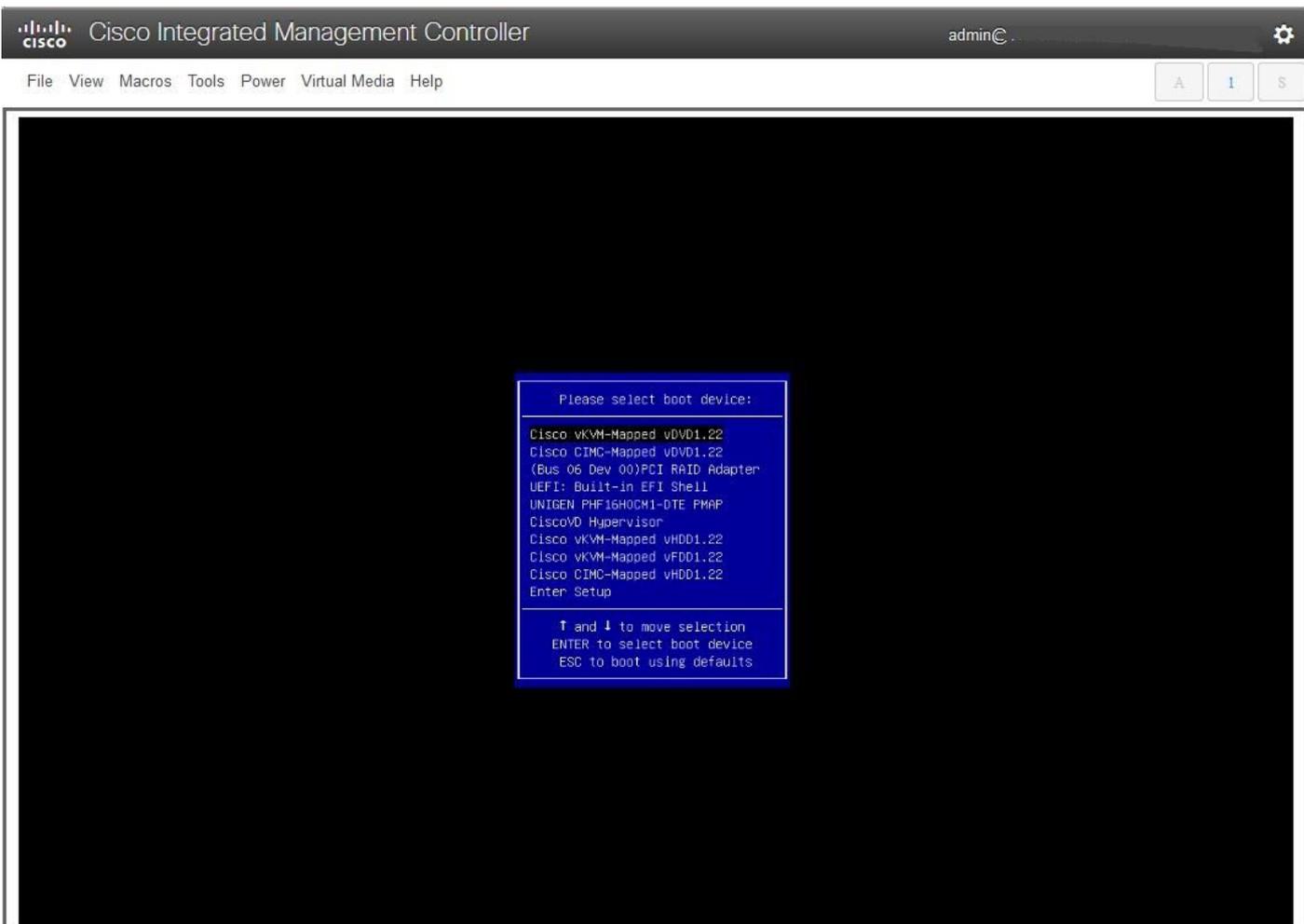
再インストール手順

警告：この手順を実行すると、VNF/VM を含むすべてのデータが失われます。

1. cisco.comからダウンロードしたcsp-2100.isoイメージをマウントします。
2. システムポスの時点でF6キーを押してブートデバイスを選択します。



3. [vKVM-Mapped vDVD]を選択します。



3. ブートメニューが表示されたら、[Troubleshooting]を選択します。



4. [Clean Installation of CSP-2100]を選択します。

Troubleshooting

Install CSP-2100 in basic graphics mode
Rescue a CSP-2100 Password
Clean Installation of CSP-2100
Run a memory test

Boot from local drive

Return to main menu <
Press Tab for full configuration options on menu items.

Try this option out if you're having trouble installing
Red Hat Enterprise Linux 7.2.

5. 15分ほどでインストールが終了し、システムが自動的に再起動されます。ウィザードが完了すると、デフォルトのユーザ名/パスワードは admin/admin になります。